

教科:(情報)科目:(情報の科学) 対象:(第1学年1組~8組)

教科担当者:(1組~8組:本堂◎)

使用教科書:情報の科学(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	情報と科学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	情報と情報社会	情報社会の意味、「情報」という科目を学ぶ意義を理解し、パソコン教室の利用方法を理解する。	知識・理解:情報社会で身に付けるべき基礎知識を持ち、情報を学ぶ意義を理解している。	2
	ネットワーク社会とのかかわり	コミュニケーションツールとしてのネットワークサービスの適切な利用について学ぶ。	思考・判断:情報発信手段の違いによる正しい情報の伝達、モラルとマナーについて考えられる。	4
5月	ネットワークの活用と評価	情報収集手段としてのネットワークの活用と適切な情報の評価について学ぶ。	思考・判断・表現:検索エンジンの活用、情報の収集と適切な評価について理解し、評価をわかりやすくまとめられる。	4
	さまざまなメディア	メディアの特徴を知り、効果的に扱うための能力を身に付ける。	思考・判断・表現:表現形式の特徴を理解し情報発信手段の違いによる正しい情報の伝達について考えられる。	4
6月	ハードウェアとソフトウェア	コンピュータの仕組み、周辺機器、ソフトウェア等について学ぶ。	知識・理解:ハードウェアの構成や周辺機器、ソフトウェアの働きや活用について理解している。	6
7月	情報のデジタル化	コンピュータにおけるデジタル情報の扱いについて学ぶ。	知識・理解:2進数、10進数、16進数の概念を理解し、音声、画像のデータ処理について計算できる。	4
9月	情報のデジタル化	2進数、16進数の変換、論理回路の基本について学ぶ。	知識・理解:2進数の計算を理解し、論理回路の基本動作について理解している。	4
	アルゴリズム	フローチャートやアルゴリズムの基本を学ぶ。	知識・理解:情報機器で行われているデジタル処理の概要、流れを理解している。	4
10月	インターネットの仕組み	インターネットの仕組み、サービスについて学ぶ。	知識・理解:ネットワークやインターネットの仕組み、DNSサーバ、ネットサービスについて理解している。	4
	知的財産権	知的財産権とその保護について学ぶ。 肖像権やパブリシティ権、引用について学ぶ。	知識・理解:知的財産権とその保護、肖像権やパブリシティ権、引用について理解している。	4
11月	情報システム・情報技術の進展と生活	情報システムのサービスの活用、情報技術の進展による社会・生活の変化や、情報化の課題について学ぶ。	知識・理解:情報技術の発達による社会・生活の変化や課題について理解している。	2
	情報社会とのかかわり・情報の表現	プレゼンテーションについて理解する。 プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を学習する。	関心・意欲・態度:テーマに興味を持って、図書館資料やインターネットを使って調査をし、スライドを作る。	4
12月	情報社会とのかかわり・情報の表現	プレゼンテーションの設計を行い、プレゼンテーション資料の作成を行う。	技能・表現:集めたデータをスライドに配置し構成する。原稿を作成し、わかりやすいプレゼンテーションを目指す。	4
1月	問題解決	表計算によるデータ処理の基本を学習する	知識・理解・技能:表計算処理の基本を理解し、基本的な処理ができる。	8
2月	問題解決	表計算によるデータ処理の実務処理について学習する	知識・理解・技能:表計算を活用した実務処理ができる。	8
3月	問題解決	いろいろなデータ処理の方法について学ぶ。	知識・理解・技能:表計算によるデータベース的な利用等、目的に応じた処理ができる。	4